

将棋駒の産地「天童」と鞆の産地「豊岡」
 伝統技法が融合して生み出した
 オールレザー「本格牛革将棋駒」

将棋駒の生産量日本一の山形県 天童市の職人たちと
 かばんの一大産地である兵庫県 豊岡市の老舗が協力し、
 牛革を何層にも重ねて磨き上げ、手作業で文字が刻まれた
 唯一無二のオールレザーの本格将棋駒。



職人たちの730日にわたる挑戦によって完成した オールレザー「本格牛革将棋駒」

将棋駒の生産量日本一の山形県 天童市の伝統技法と、兵庫県 豊岡市の鞆作りで培った革加工技術を融合した、オールレザーの「本格牛革将棋駒」がついに完成しました。皮革を何層にも重ねて磨き上げ手彫りの文字が刻まれた駒は、まるで使い込まれた高級感漂う木製の駒のような仕上がりとなりました。革ならではの経年変化で使っていくたびにツヤと色の深みが育っていく風合いを感じられます。オールレザーとは言え、音は将棋を指すときと同じ鋭さを誇っています。木製よりも少しこもった重みのある独特の音が響きます。将棋駒だけではなく、「将棋盤」と「駒置き」、「保管ケース」まで、すべて牛革で作成しました。

天童の伝統工芸品「天童将棋駒」

山形県天童市は伝統ある“将棋駒”を後世に伝え守る日本一の産地です。天童での将棋駒の生産は江戸時代に始まり、技術と技法を現在まで受け継いできました。やがて、将棋駒の最高級品である“盛上駒”を天童の地で作り続けてきた駒師「桜井和男氏」らの尽力により天童の将棋駒の地位は向上し、1980年には第29期王将戦の対局で初めて天童の将棋駒が使用されることとなりました。現在では天童市以外で生産されている将棋駒はほとんどなくなり、1996年に国が指定する伝統的工芸品として“天童将棋駒”が指定されています。

豊岡の歴史的地場産業「豊岡かばん」

兵庫県 豊岡市は、1200年以上の歴史をもつ日本有数の鞆の産地です。奈良時代以前から豊岡で作られてきた“柳行李(やなぎこり)”と呼ばれる、杞柳で編んだ籠が“豊岡かばん”の源流です。“豊岡杞柳細工”は、国が指定した伝統工芸品に指定されています。“柳行李”を源流とする“豊岡かばん”、そして「服部」の長い歴史と伝統を守りつつ、現代の生活様式の変化に合わせて鞆を作り続けています。服部は厳正な品質基準に合格した「豊岡鞆®」認定企業です。





革ならではの経年変化が楽しめる将棋駒

革を薄く漉き、何枚も重ねた厚さ、フォルムや磨きをはじめ、あらゆる革加工の技術を駆使しています。

通常の革の漉き加工は厚みを均等に平らに整えていく加工なのですが、将棋の駒は前部分が薄く後ろ部分が厚くなっている形状ですので、革の漉きも斜めに行わなければなりません。この加工はとても細かな技術を要しました。

また、革は断面を磨くことで光沢のある美しい「コバ」が出来るのですが、複数の革を重ね合わせれば重ねるほど難易度は増していきました。

こうして多くの職人たちの創意工夫を重ねていくことで、革ならではの経年変化が楽しめる将棋駒のベースが完成しました。

天童の伝統的工芸を受け継ぐ三人の駒師

山形県将棋駒協同組合にご協力をいただき、オールレザー将棋駒はさらなる本格性を高めていきました。そして、天童の伝統工芸士「桜井和男氏」に師事する若手の彫り師「亘山」「暁」、書き師「天麻」が新たな素材へ挑みました。

天童で国の伝統的工芸品指定を受けている駒には、“書き駒”、“彫り駒”、“彫り埋め駒”、“盛り上げ駒”の4種類があります。中でも天童将棋駒の伝統は、駒木地に漆で直接文字を書く草書体の“書き駒”です。

オールレザー将棋駒では、“彫り駒”だけではなく、天童の伝統的技法である“書き駒”も作成していただきました。

木とは違う性質の革の駒にひとつひとつ手作業で彫り、書き進める難しさは、通常の木駒の比ではありませんでした。しかし、その困難をも乗り越える天童の駒師たちの卓越した技術と技法によって美しい文字が駒に書き込まれていきます。



彫り師 亘山（高橋 亘）
丁寧且つ力強い彫り筋で多くの
将棋愛好家から支持

オールレザー本格牛革将棋セット(彫り師 亘山)
770,000円(税込)



彫り師 暁（石澤 久美子）
重厚且つ深い彫り筋としなやかな
曲線美が特徴

オールレザー本格牛革将棋セット(彫り師 暁)
770,000円(税込)



書き師 天麻（庄司 麻由美）
伝統工芸士。天童市の書き駒の将
来を担う唯一の若手書き師

オールレザー本格牛革将棋セット(書き師 天麻)
660,000円(税込)



飾り駒「王将」サイズ大(書き師 天麻)
19,800円(税込)



飾り駒「左馬」サイズ大(書き師 天麻)
19,800円(税込)



飾り駒「王将」サイズ小(彫り師 亘山)
15,400円(税込)



飾り駒「左馬」サイズ小(彫り師 亘山)
15,400円(税込)

制服部

株式会社 服部
〒668-0022 兵庫県豊岡市小田井町13-25
TEL:0796-22-6161

株式会社 服部 東京支店
〒111-0052 東京都台東区柳橋2-4-3
TEL:03-5829-8315



利 KANEDA-ITTO

